

町民意識調査結果について

1. 調査の目的

本調査は、町の施策への満足度やまちづくりへの意識を調査し、次期総合計画の策定の参考にすることを目的とする。

2. 実施概要

① 調査方法

調査方法:開成町在住の18歳以上から3,000人を無作為抽出

回答方法:郵送又はウェブ回答

調査期間:令和5年5月16日(火)～5月31日(水)

② 回収結果

調査対象者数(配布数):3,000件

有効回収数:1,186件(郵送:761件、WEB:425件)

有効回収率:39.5%

※【参考】第五次開成町総合計画後期基本計画策定時の町民意識調査

平成30年5月16日(水)～5月31日(木)実施(郵送配付・郵送回収のみ)

発送数:2,000 有効回収数:770 有効回収率:38.5%

3. 調査項目

- 1 属性
- 2 日常生活の中で取り組んでいる活動、今後取り組みたい活動
- 3 新型コロナウイルスによる暮らしや地域活動の変化
- 4 幸福度
- 5 居留意向
- 6 各施策の満足度
- 7 町の情報入手手段
- 8 町の施策や行政サービスにおけるデジタルサービスの希望
- 9 まちづくりにおけるキーワード
- 10 町内に希望する場所
- 11 協働のまちづくりについて
- 12 防災について取り組んでいること
- 13 ごみ減量のためにしていること
- 14 議会の情報入手手段

4. 調査結果の概要(主な設問から抜粋)※詳細は別途提供

(1)回答者の属性について

■性別について

○回答者の性別については、「女性」が58.0%、「男性」が40.8%となっています。

■年齢について

○全体では、「70代以上」が27.7%と最も高くなっています。

上位3つの回答 ①「70代以上」27.7%、②「40代」18.6%、③「50代」17.1%

(2)生活や暮らしについて

■暮らしの幸福度が何点(10点満点)になるかについて

○全体では、「8点」が27.2%と最も高くなっています。

上位3つの回答 ①「8点」27.2%、②「7点」21.7%、③「5点」16.4%

■幸福度を判断する際に重視したことについて

○全体では、「健康状況」が68.6%と最も高くなっています。

上位3つの回答 ①「健康状況」68.6%、②「家族関係」65.1%、
③「自由な時間・充実した余暇」50.3%

(3)今後の居住意向について

■開成町は住みやすいかについて

○「とても住みやすい」と「住みやすい」を合わせた「住みやすい」が、84.3%、「とても住みにくい」と「住みにくい」を合わせた「住みにくい」は、2.8%となっています。

■開成町に住み続けたいかについて

○「ずっと住み続けたい」が67.1%と最も高くなっています。

(4)これからの開成町のまちづくりについて

■開成町のまちづくりにおいて魅力を高めていくためのキーワードについて

○「居心地」が29.3%と最も高くなっています。

上位3つの回答 ①「居心地」29.3%、②「自然」28.6%、③「便利」25.6%

■暮らしを豊かにするために町内にどのような場所があったら良いかについて

○「災害時などに安全に避難できる場所」が55.5%と最も高くなっています。

上位3つの回答 ①「災害時などに安全に避難できる場所」55.5%、
②「こどもが安全に遊べる場所」52.5%、
③「休日に家族や仲間と体を動かし楽しめる場所」39.6%